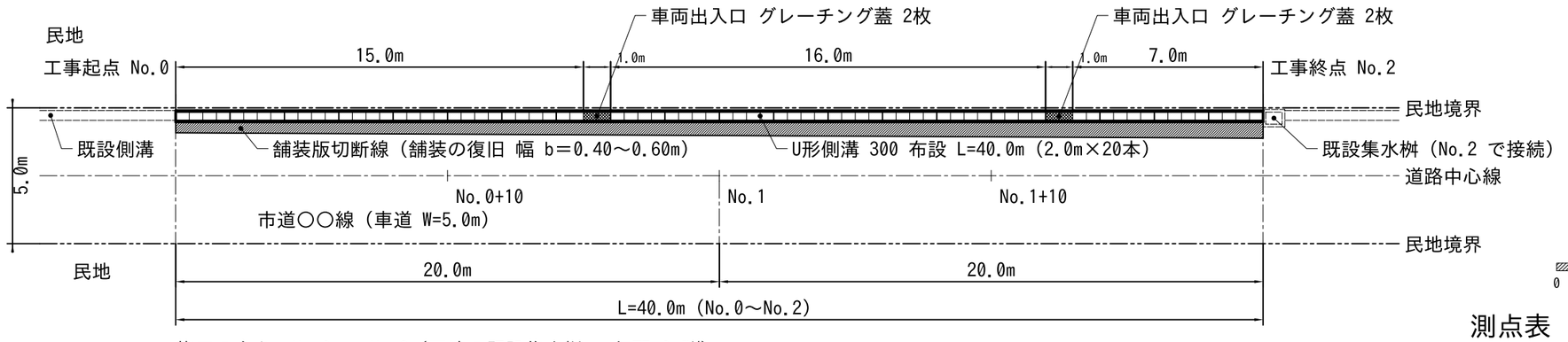
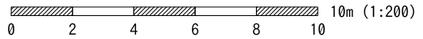
平面図 1:200



施工の向き：No.0 → No.2（下流の既設集水桝へ 勾配 0.5%）



測点表

測点	追加距離 (m)	舗装の復旧幅 b (mm)	内底の計画高 (m)
No.0	0.0	400	10.250
No.0+10	10.0	450	10.200
No.1	20.0	500	10.150
No.1+10	30.0	550	10.100
No.2	40.0	600	10.050

標準断面図 1:10

（No.1 で描く。b は右の測点表）

凡例（断面）

- 基礎砕石 RC-40
- 上層路盤 RM-40
- U形側溝（新設）
- 埋戻し（発生土）
- 表層 As
- ------- 既設・床掘線

特記

- 寸法の単位は、断面図が mm、平面図の延長・幅員と高さが m。
- 寸法・材料は提案例の想定値。
- 舗装の復旧幅 b は損傷の範囲に合わせ、No.0 の 0.40m から No.2 の 0.60m まで直線に広がる。
- 側溝は下流（No.2）の既設集水桝に接続、勾配 0.5%。
- 数量は 数量計算書（2/4）、まとめは 数量総括表（3/4）。
- 出来形の測定は 出来形管理表（4/4）。測点ごと。

材料表（10m当たり） 舗装・土工は b で変わるので 数量計算書（2/4）

名称	規格	単位	数量	摘要
U形側溝	300（落ふた式）L=2.0m	本	5	10.0÷2.0
側溝蓋	300用 L=0.5m（コンクリート／グレーチング）	枚	20	10.0÷0.5。グレーチングは出入口のみ
基礎砕石	RC-40 t=100	m2	6.2	幅 0.62×10.0

作成		照査		承認	
0	2026-11-27	初版			
記号	年月日	改訂内容			担当

工事名	市道〇〇線 側溝改修工事（提案例）
図面名	平面図・標準断面図
作成年月日	2026-11-27
縮尺	図示（A3） 図面番号 1/4
会社名	ZAZOU 設計Works（提案例）
事業者名	〇〇市（提案例）

数量計算書

図面（1/4 平面図・標準断面図）の寸法から計算。断面積は標準断面図の形、体積は平均断面法（V＝(A1＋A2)÷2×L）。

(1) 断面積（m2）　b は測点表の舗装の復旧幅

測点	b（m）	工種	計算式（幅×高さ）	断面積
No.0	0.400	床掘	(0.520＋0.400)×0.460	0.4232
		基礎砕石	0.620×0.100	0.0620
		埋戻し	0.100×0.360＋0.400×0.160＋(0.400-0.100)×0.100	0.1300
No.1	0.500	床掘	(0.520＋0.500)×0.460	0.4692
		基礎砕石	0.620×0.100	0.0620
		埋戻し	0.100×0.360＋0.500×0.160＋(0.500-0.100)×0.100	0.1560
No.2	0.600	床掘	(0.520＋0.600)×0.460	0.5152
		基礎砕石	0.620×0.100	0.0620
		埋戻し	0.100×0.360＋0.600×0.160＋(0.600-0.100)×0.100	0.1820

床掘＝(外面までの 0.100＋側溝の外幅 0.420＋b)×深さ 0.460　埋戻し＝民地側 0.100×0.360＋車道側 b×0.160＋基礎の外 (b-0.100)×0.100
（埋戻し＝床掘-基礎砕石-側溝の外形 0.420×0.360-路盤-表層 とも一致することを確かめた）

表1-1 床掘

測点	距離	断面積	平均	体積
No.0		0.4232		
No.1	20.0	0.4692	0.4462	8.924
No.2	20.0	0.5152	0.4922	9.844
計	40.0			18.768

表1-2 基礎砕石（参考：体積）

測点	距離	断面積	平均	体積
No.0		0.0620		
No.1	20.0	0.0620	0.0620	1.240
No.2	20.0	0.0620	0.0620	1.240
計	40.0			2.480

表1-3 埋戻し

測点	距離	断面積	平均	体積
No.0		0.1300		
No.1	20.0	0.1560	0.1430	2.860
No.2	20.0	0.1820	0.1690	3.380
計	40.0			6.240

(2) 舗装の面積（m2）　表2：復旧幅 b の平均×距離

測点	距離	b（m）	平均幅	面積
No.0		0.400		
No.1	20.0	0.500	0.450	9.000
No.2	20.0	0.600	0.550	11.000
計	40.0			20.000

舗装版撤去・上層路盤・プライムコート・表層 ＝ 20.000 m2
As殻 ＝ 20.000×0.050 ＝ 1.000 m3

(3) 延長・個数

U形側溝 300 布設 ＝ 2.0m×20本 ＝ 40.0 m (L＝40.0m)
既設側溝撤去 ＝ 40.0 m
舗装版切断 ＝ 切断線 40.0005 (√(40.000²＋0.200²))
　＋端部 No.0 の b 0.400＋No.2 の b 0.600 ＝ 41.000 m
側溝蓋 ＝ 40.0÷0.5 ＝ 80枚
　うちグレーチング ＝ 出入口 2か所×2枚 ＝ 4枚
　コンクリート蓋 ＝ 80－4 ＝ 76枚
残土処理 ＝ 床掘 18.768－埋戻し 6.240 ＝ 12.528 m3

作成		照査		承認	
0	2026-11-27	初版			
記号	年月日	改訂内容		担当	

工事名	市道〇〇線 側溝改修工事（提案例）		
図面名	数量計算書		
作成年月日	2026-11-27		
縮尺	－（A3）	図面番号	2/4
会社名	ZAZOU 設計Works（提案例）		
事業者名	〇〇市（提案例）		

数量総括表

市道〇〇線 側溝改修工事（提案例）　工事延長 L＝40.0m（No.0～No.2）

No.	工種	種別・細別	規格	単位	数量	計算式（要約）	計算書
1	構造物撤去工	既設側溝撤去	U形側溝 240（既設）	m	40.0	L＝40.0	2/4 (3)
2		舗装版切断	As t=50	m	41.0	切断線 40.0005（斜め）＋端部 0.400＋0.600	2/4 (3)
3		舗装版撤去	As t=50	m2	20.0	平均断面法（表2）	2/4 (2)
4		As殻 運搬・処分		m3	1.00	20.000×0.050	2/4 (2)
5	土工	床掘	人力＋小型バックホウ	m3	18.8	平均断面法（表1-1）	2/4 (1)
6		埋戻し	発生土（良質土）	m3	6.2	平均断面法（表1-3）	2/4 (1)
7		残土処理		m3	12.5	床掘 18.768－埋戻し 6.240	2/4 (1)
8	側溝工	基礎砕石	RC-40 t=100	m2	24.8	0.620×40.0	2/4 (1)
9		U形側溝 布設	300（落ふた式）L=2.0m	m	40.0	2.0m×20本	2/4 (3)
10		側溝蓋（コンクリート）	300用 L=0.5m	枚	76	40.0÷0.5＝80枚－グレーチング 4枚	2/4 (3)
11		側溝蓋（グレーチング）	300用 L=0.5m 車道用	枚	4	2か所×2枚	2/4 (3)
12		既設集水桝 接続		か所	1	No.2	2/4 (3)
13	舗装工	上層路盤	RM-40 t=150	m2	20.0	平均断面法（表2）	2/4 (2)
14		プライムコート	PK-3	m2	20.0	同上	2/4 (2)
15		表層	再生密粒度As(13) t=50	m2	20.0	同上	2/4 (2)

・数量は図面（1/4）の寸法と数量計算書（2/4）から出した。御社の数量総括表・内訳書の書式があれば、その並び・桁・単位に合わせる。
・積算ソフトに入れる形（工種・種別・細別・規格・単位・数量の並び）にしてある。
・数位は確かめやすいよう計算書で小数3～4位、この表で小数1位（As殻は2位）まで出している。国土交通省「土木工事数量算出要領」の数位
（表-1：断面積・土量・面積は小数1位止、平均断面積は2位止）と設計表示単位（別表-1）にそろえる指定があれば、その桁に丸めて出す。

作成		照査		承認	
0	2026-11-27	初版			
記号	年月日	改訂内容		担当	

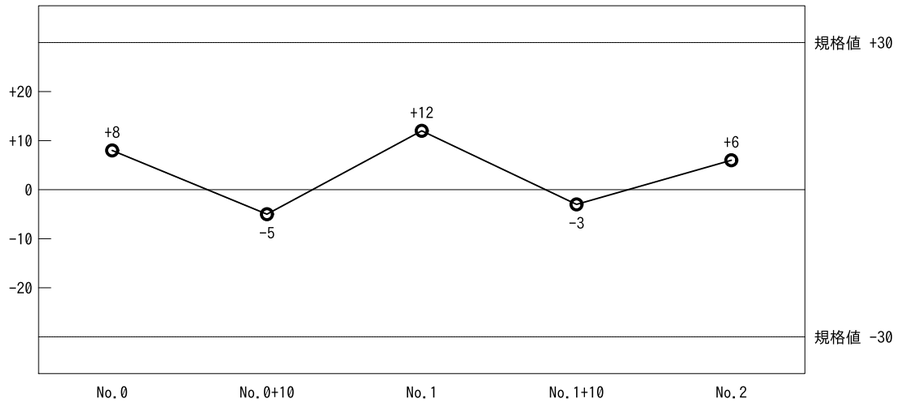
工事名	市道〇〇線 側溝改修工事（提案例）		
図面名	数量総括表		
作成年月日	2026-11-27		
縮尺	－（A3）	図面番号	3/4
会社名	ZAZOU 設計Works（提案例）		
事業者名	〇〇市（提案例）		

出来形管理表

実測値はすべて「記入例」（現場の測定値を入れる欄）。差＝実測値−設計値。

工種	測定項目	測点	設計値	実測値（記入例）	差	規格値	判定
側溝工 U形側溝	基準高 ▽（内底）	No.0	10.250	10.258	+8	±30	○
		No.0+10	10.200	10.195	−5	±30	○
		No.1	10.150	10.162	+12	±30	○
		No.1+10	10.100	10.097	−3	±30	○
		No.2	10.050	10.056	+6	±30	○
	延長 L（m）	No.0〜No.2	40.00	40.03	+30	−200	○
舗装工（打換え）	表層 厚さ t	No.0	50	53	+3	−7	○
		No.0+10	50	51	+1	−7	○
		No.1	50	52	+2	−7	○
		No.1+10	50	50	0	−7	○
		No.2	50	54	+4	−7	○
	表層 幅 w	No.0	400	405	+5	−25	○
		No.0+10	450	452	+2	−25	○
		No.1	500	508	+8	−25	○
		No.1+10	550	553	+3	−25	○
		No.2	600	604	+4	−25	○
	上層路盤 厚さ t	No.0	150	154	+4	−25	○
		No.0+10	150	152	+2	−25	○
		No.1	150	151	+1	−25	○
		No.1+10	150	156	+6	−25	○
		No.2	150	153	+3	−25	○
	上層路盤 幅 w	No.0	400	406	+6	−50	○
		No.0+10	450	455	+5	−50	○
		No.1	500	507	+7	−50	○
		No.1+10	550	556	+6	−50	○
		No.2	600	605	+5	−50	○

出来形管理図　基準高 ▽（内底）の差（mm、記入例）



注

・規格値は、国土交通省「土木工事施工管理基準」の考え方（中規模以下の工事、個々の測定値）を想定した提案例。実際は発注者（市町村）の基準・様式・測定の間隔に合わせる。

・測定の位置は測点（No.0・+10・No.1・+10・No.2）。延長は 1工事で 1か所。

・写真（出来形・材料・段階確認）の整理と、写真の番号との照合も同じ表で行える。

・御社の出来形管理の様式・施工管理ソフトの書式があれば、その欄・並びに合わせて作る。

作成		照査		承認		工事名	市道○○線 側溝改修工事（提案例）		
						図面名	出来形管理表		
						作成年月日	2026-11-27		
						縮尺	ー（A3）	図面番号	4/4
0	2026-11-27	初版				会社名	ZAZOU 設計Works（提案例）		
記号	年月日	改訂内容			担当	事業者名	○○市（提案例）		